

魚沼市 コミュニティ・スクール

魚沼市では2022年度から全小中学校が
コミュニティ・スクールとして
スタートしました！

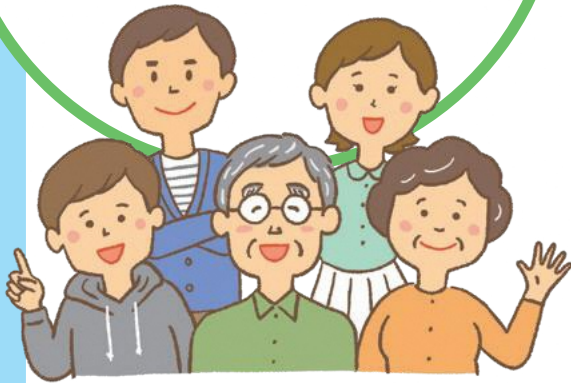


コミュニティ・
スクール
とは？

コミュニティ・スクールとは学校運営協議会を導入している
学校のことです。学校運営協議会とは保護者・地域・学校が
一体となって、共通の目標やビジョンを持ち、地域の子ども
たちを育むために力を合わせる仕組みです。三者が一体と
なって特色のある学校づくり&地域づくりをしていきます！



魚沼市が目指す コミュニティ・ スクール



魚沼市では「子どもと大人の幸福感が高まるコミュニティ・スクール」を目標にしています。子どもは多くの地域の人と関わることで学ぶ喜びを感じ、地域の人子どもたちを育てる活動を通じて、地域の未来に貢献する喜びを感じることを目指しています。

コミュニティ・スクールの役割

- 学校経営の改善
- 社会に開かれた教育課程の実現
- 子ども・学校を核としたつながりづくり
- 学校と協働した地域のイベントの実施

詳しくは
文部科学省のHP



チェック!

事例① 湯之谷小学校・湯之谷中学校

湯之谷小学校・湯之谷中学校では、異なる年代の子どもや大人が楽しく関わる活動を通して相互理解を深めたいという思いから、小学校の児童会行事である「湯之谷フェス」を2023年度に見直しました。具体的には、小学5・6年生と中学1年生、学校運営協議会委員が趣向を凝らしたゲームやアトラクションを企画・運営し、小学1～4年生と近隣の園児を楽しませる会です。学年や世代を超えて様々な人と関わりあう活動として定着しつつあります。

ポイント

多世代で楽しみながら交流し、
つながりを深めていく



事例② 小出中学校

小出中学校では、子どものチャレンジを応援する地域協働の輪が広がっています！大人と子どもと一緒に語り合う「未来を語る会」を実施。生徒から出された「地域を盛り上げるアイデア」を全面的に学校運営協議会がバックアップ。小出まつりでは、商工会と連携し花火大会後の清掃活動、地域と生徒会の呼びかけで一緒に民謡流しに参加、商店街の空き店舗を活用して生徒がつくったグッズの出店販売を行うなど「生徒のチャレンジ」×「学校運営協議会の活動」が連動し「協働の輪」が広がっています。

ポイント

子どもたちの声をきっかけに
子どもと大人と一緒に活動する



事例③ 広神東小学校

広神東小学校では、CSルーム(コミュニティ・スクールルーム)を起点に地域ボランティアの方や学校運営協議会委員が中心となり、わくわくカルタ会やわくわく茶道体験教室などの多種多様なイベントを企画・開催しています。活動後はCSルームで振り返り会を実施するなど交流し、次の活動に繋がっています。子どもたちはイベントを通して、子ども同士の関わりを深めたり、地域の大人との関わりを広げたりしています。また、魚沼の伝統の踊りや方言などを体験し、興味を広げる場となっています。

ポイント

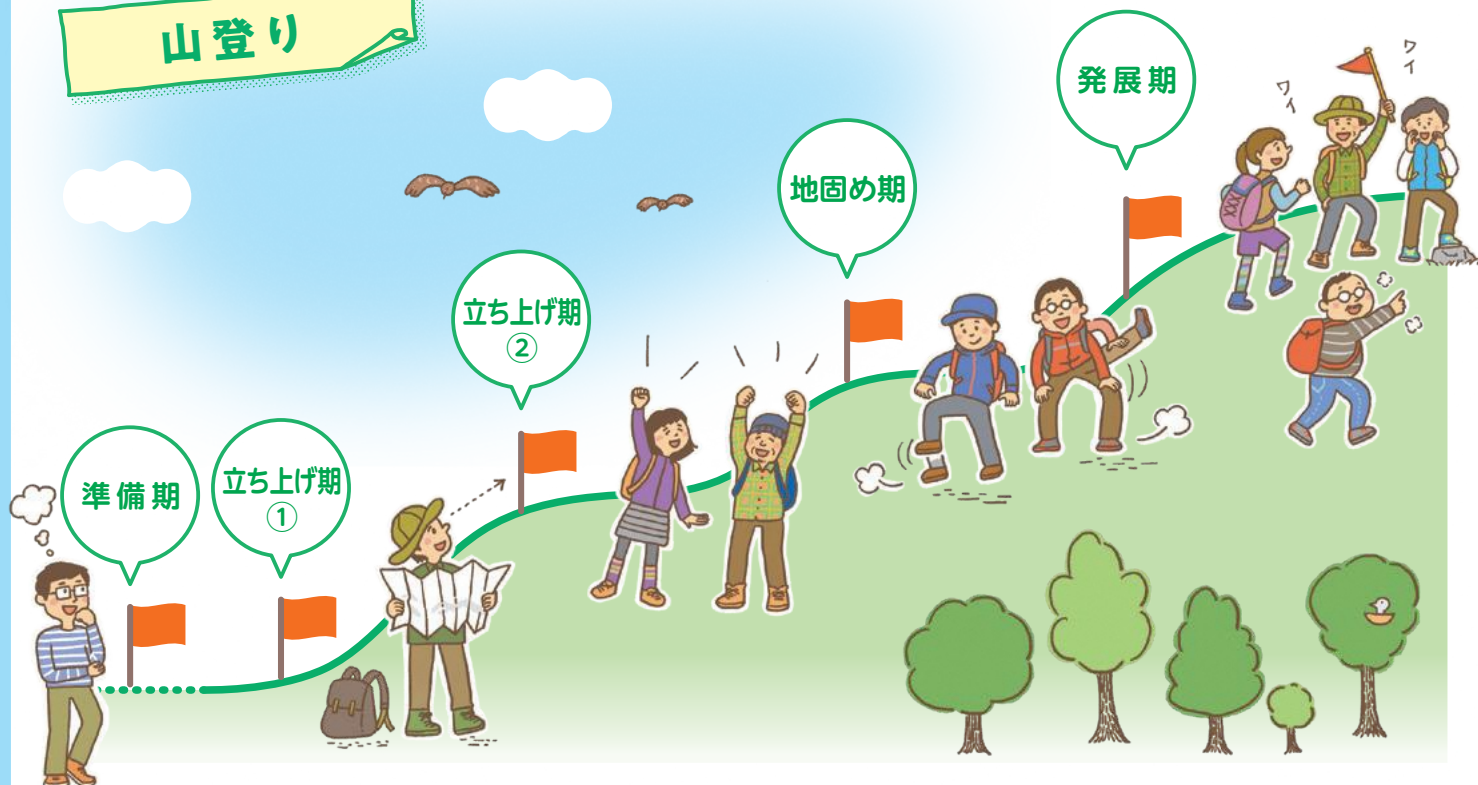
お互いにできることを持ち寄り、
子どもや地域の
課題解決のために実行する



ポイント

多様な声を集め、学校や地域のできることから
一歩ずつ活動を広げていこう！

山登り



2021 準備期 ▶▶▶ 2022 立ち上げ期① ▶ 2023 立ち上げ期② ▶

地域の方々・学校教職員に向けて、コミュニティ・スクールとは何か、なぜコミュニティ・スクールを導入するのかを知っていただくとともに、コミュニティ・スクールを通じて育みたい魚沼の子どもの姿を話し合いました。

【キーワード】

#コミュニティ・スクールの理解

学校運営協議会委員が自分ごととして地域や学校に関わるため、目的の確認や地域にある資源を活用してコミュニティ・スクールでやりたいことなどを考えました。

【キーワード】

#地域資源の再確認
#主体性
#思いの共有

各学校のアンケートの数値データをもとにコミュニティ・スクールの活動を振り返りつつ、より発展していくために活動の共有や計画の検討を実施しました。

【キーワード】

#CSポートフォリオ
#活動の共有

2024 地固め期 ▶▶ 2025～ 発展期

コミュニティ・スクールの活動をより多くの地域の方々に広げていくため、情報の発信方法や体制の整備に向けた話し合いをしました。

【キーワード】

#情報発信
#コミュニティ・スクールの自立と自律

これからも魚沼市内小中学校の
コミュニティ・スクールが
継続し、発展する

保護者や地域のたくさんの方が話し合うことで、学校や子どもたちの課題の解決策を考える仲間を増やす&地域と学校がwin-winになる目標をつくる。

【キーワード】

#目標の随時共有
#ふりかえり

Community School

コミュニティ・スクールで
大切にしたいことについて

次のページを
チェック!

2023年度までの
詳しい取り組みは
こちらから



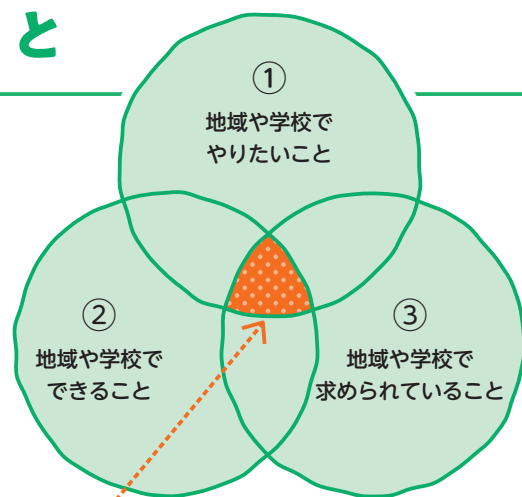
チェック!

市報うおぬま202403
8ページから9ページです!



コミュニティ・スクールで大切にしたいこと

関係づくりから振り返りまでの全てのプロセスは「話し合い」が基本となります。コミュニティ・スクールを通じて、学校や地域の課題、学校の教育活動、地域の活動の中で子どもたちに育んでもらいたい資質能力について話し合いを重ねることが大切です。それと同時に、コミュニティ・スクールを通じて「①やりたいこと」「②できること」「③求められていること」を整理していき、3つの重なり合う視点を学校運営協議会委員で話し合っていきます。



ポイント ここについて話し合う (1~5)

1. 関係づくり

学校運営協議会委員と学校教職員それぞれが役割を理解し、関係づくりをしていきます。お互いの理解を深めるために、模造紙を囲んで話し合うなどフラットな関係づくりを進めていきます。同時に教職員がどのように授業をつくっているのか、コミュニティ協議会が地域でどのような活動をしているかなど、お互いが学校や地域で担っている役割を知ることが大切です。

3. 役割分担

学校運営協議会委員の中で役割分担をしていきます。自身の得意なことやできること、挑戦してみたいことを無理のない範囲で積極的に取り組んでいきます。

5. 振り返り

解決策となる活動や取り組みを行った後は、学校運営協議会委員と学校教職員、地域ボランティアなどを交えて、振り返りを行うことが大切です。次回の活動に向けてよかった点、気をつける点など前向きな振り返りを行うことで前進していきます！

小学校高学年・中学生であれば、子どもも振り返りに参加することで地域に貢献した！という意識に繋がります。

2. 話し合いと合意

学校運営協議会委員全員で「やりたいこと」「できること」「求められていること」などを話し合い、整理していく中で課題を見つけ、解決策を考えていきます。その時に必要なのが、学校運営協議会委員それぞれが納得感をもつことです。

4. 小さな実験

解決策となる活動や取り組みは新しいものでなくてもOK！子どもたちと学校運営協議会委員、地域のボランティアのみなさんが失敗を恐れず、既にある事業や行事を少しかえるなど小さな挑戦を繰り返していくことが大切です。

関係づくりから振り返りまでの全てのプロセスは「話し合い」が基本となります。



コミュニティ・スクールへの関わり方は自由です！

子どもたちと関わりたいという思いのある方々や団体のみなさんに関わっていただける機会がたくさんあります！

こんな方はぜひご参加ください！

- 子どもたちに関わるボランティアをやりたい
- 自分たちが行っている地域活動を子どもたちと取り組みたい
- なにか人や地域のためになることをしたい
- 地域が元気になるプロジェクトをつくりたい

【問い合わせ】

魚沼市教育委員会事務局学校教育課
新潟県魚沼市小出島910番地 TEL:025-793-7452

教育委員会か各学校に お問い合わせください！

